

活動報告

団体名	災害ボランティア 愛・知・人
活動名	被災者のための避難所の炊出し及び家屋復旧作業と地域コミュニティ支援活動
活動期間	2016/04/16～2016/08/31
活動の成果	<p>これまで数々の被災地支援を行った経験から、地震発生翌日スタッフAが現地入りし、1000名規模の北高校避難所で運営基盤の確立。3日目にはスタッフBが炊出し機材・食材・レトルト食品を積んで向かい東区秋津地区8つの避難所で炊出しの運営方法を確立。5日後、スタッフCが入り市のボラセンの立上げから携わり「マッチング班」のリーダーとして1か月滞在。</p> <p>避難所運営・炊出し・市のボラセンの立ち上げという初動の活動は、経験者3名により大きな成果がありました。</p> <p>熊本県と市から民間ボランティアとして公認され4月末「DAW 民間ボランティアセンター」を立上げスタッフBは3か月間滞在。スタッフAは現在も滞在中。</p> <p>高所や危険な作業が伴うため、全国から特殊作業のできる専門職のボランティアを招集しリピーターも多く1日10～30名。のべ5000名のボランティアが活躍。4か月で約300軒のブルーシート張り、ブロック塀などの解体を約100軒。</p> <p>家屋復旧作業は、現在もニーズが残っており10月末まで「DAW 民間ボランティアセンター」は活動を継続予定。</p> <p>長期滞在が必要な「民間ボラセン」運営は行政との連携が大切でその位置づけ、期間の見極めが大きな課題です。</p>
寄付者へのメッセージ	<p>東日本大震災後に立ち上げた私達の団体も6年目になり、ボラサポの支援をいただきながらこれまで10箇所以上の被災地で活動をしてきました。</p> <p>災害支援活動は、被災地域の特性や行政の対応など、毎回状況が違いボランティアに求められる事は変わりますがベースとなる初動活動ができるかどうかは、やはり経験が必要だと感じています。</p> <p>一般ボランティアとして活動を始め、ボランティアリーダーとなり、そして前回の常総市では市のボラセンのサテライトの一つを任されるまでになりました。</p> <p>回を重ねるごと仲間が増えて情報もたくさん得ることができるようになり、熊本では民間ボラセンを立ち上げることができました。</p> <p>しかし今回は長期滞在が必要となり、資金面でかなり苦労をしましたが皆様からの大切な支援金による「ボラサポ九州」の助成金のおかげで活動を継続することができております。メンバー一同、心より感謝申し上げます。</p> <p>私たちの活動は「現地には行けないけれど何かしたい」という思いを持った方のあたたかい気持ちに支えられております。</p> <p>平時には地元で積極的に活動写真展や報告会を開催し防災意識の向上にも努めております。</p> <p>支援の気持ち、ボランティアの気持ちを広めていくことが私たちの活動の目的であり、愛知人の活動コンセプト「伝えよう・広げよう・届けよう」です。</p> <p>今後ともよろしくご支援のほどお願い申し上げます。</p>

